

相互の信頼を育む、『化学物質と環境円卓会議』への大いなる期待

～安心・安全な暮らしに向けて

産業界と市民のリスクコミュニケーション推進方法の提案～

○有害化学物質の影響評価、情報公開、削減策などについて
「検討を継続する場」の確保～円卓会議の意義の合意形成

○産業界および、身近な地域の化学物質情報を収集・公表し、
市民の疑問やニーズに答える「第三者機関(サイト)の設置」

○市民が主体的に化学物質問題を学び、考え、行動できるよう
多様かつ総合的な視点からの「学びの場」の確保

○化学物質処理に関する情報公開と、処理の仕組みの検討

- ・化学物質専門の産業廃棄物処理業者の状況の把握
- ・家庭の医薬品・化粧品・ペンキ・蛍光灯など、
化学物質の含まれる物の回収・処理の仕組みの提言